

南アフリカ リンゴとナシの生産者は今シーズンについて楽観的

[FreshFruitPortal](#) 2025年2月5日

トウルーケープ社の契約生産者達は、すべての産地の良好な生育条件のおかげで良い収量が約束されているため、リンゴとナシの収穫について楽観的である。ナシの出荷シーズンは1月の前半に始まり、リンゴのシーズンは今が最盛期である。

西ケープ州のリンゴとナシの産地は、遅いながらも寒い冬を過ごし、降雨量も十分であった。開花期の条件は良好で、果実の肥大も満足のいくものであった。

同社の調達マネージャーであり、ヴィッツェンベルクバレー地区でリンゴとナシを生産するカラ・デュトワ氏は、「最近の暖かい日を除けば、夏は涼しかった。ヴィッツェンベルクバレー出身の故ロバート・ズルチ氏は、涼しい夏はリンゴの季節が良いことを示しているとよく言っていたが、現在、それは果実の大きさに表れている。灼熱の気温になると、果樹はストレスを感じ始め、果実が小さくなる。涼しいコンディションでは果樹は幸せそうに見え、毎週3~4mmの肥大が見られる」と話す。(以下「」は同氏の話)

これまでのところ、過度の風害は記録されておらず、果実はすべての産地できれいな外観をしている。11月にみぞれが少し降ったことが、これまでのところ唯一の悪条件である。「今年は風や洪水の大きな被害がなかったので、大いに感謝している。」

リンゴの出荷シーズンは例年より約1週間遅れているが、同氏は晩生の品種は追いつくと予想している。「ふじ系の品種、ロイヤルガラ、ピンクレディーの着果数が少ないため、この段階で豊作は期待できないが、収量が平均的で品質が素晴らしい良いシーズンになると、慎重ながらも楽観視している。」

すべての兆候は、ヨーロッパ・英国向けのロイヤルガラの出荷を早期に開始できることを示している。「弊社が提供するロイヤルガラ系のリンゴは、特にビッグボックス・ガラとフラッシュ・ガラを追加したおかげで、ここ数年で急速に成長しているおり、大変喜んでいる。」

ブラッシュドペア(ナシ)への新たな関心

今シーズン、商業的な量のケープブラッシュ品種が農場で収穫され、同社の新しい章の始まりとなる。「成長を続けるブラッシュドペア(黄または緑の果皮に赤みが刺した洋ナシ)は、新たなチャンスを提供してくれる。」

「ケープブラッシュは、生産者の利益になる素晴らしい色とサイズの果実を提供する早生品種である。弊社の試験では、黄色に変色しやすいローズマリー品種よりも優れた貯蔵適性が示されている。今や、早生のブラッシュドペアを用いてより遠く離れた市場に供給するチャンスがある。また、カナダやベトナムなど、大玉の果実の需要がある市場に供給することもできる。中国市場ではブラッシュドペアの魅力が認められ、年間を通じてベトナムと中国に供給することができる。ケープブラッシュは、前シーズンの最後のフォルル品種に続く。」

同社は、今年初めてQTeeブランドでセリーナ品種も販売している。

ケープタウン港の改善

リンゴとナシの業界は、物流が過去数年ほど難しくないことを引き続き期待している。同社のマネージングディレクターであるロールフ・ピナル氏によると、ケープタウン港は12月に大幅な改善を示した。これは正しい方向への一歩であるが、同氏は、さらなる進歩の余地がまだあることを強調した。(以下「」は同氏の話)

「果実の輸出シーズンが遅れて始まったため、港湾当局は従来のピーク期間中に準備を整えプレッシャーを軽減するための時間を増やすことができた。12月は天候も良好で、風の影響も例年より少なかった。」

港の全体的な生産性はあまり向上しなかったが、運用が安定したことは確かである。

「機器はより簡単に入手できるようになり、運用プロセスは確実に改善された。我々は、危機への対応を支援するためのHortgro(園芸生産者協会)や他の関係機関の優れた仕事に感謝している。」

(翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)